

## 関西観光・文化振興計画検討委員会(第3回)の概要について

- 1 日 時 平成 27 年 1 月 7 日(水) 15:00~17:00
- 2 場 所 関西広域連合本部事務局大会議室
- 3 出席者 大橋昭一委員(座長)、河内厚郎委員、坂上英彦委員、橋爪紳也委員、  
福島伸一委員  
(そのほか構成府県市、連携団体、関係団体から出席)
- 4 内 容
  - (1) 報告
  - (2) 関西観光・文化振興計画(最終案)について
  - (3) 意見交換  
委員の主な意見は以下のとおり。

### 【計画全体、「はじめに」、「2 現状と課題」について】

- やるぞという意気込みをどこかで表現できたらよいと思う。サブタイトルか何かで、例えば表紙に800万人を達成するのだと付けて明確にしてはどうか。ビジット800万人構想とか、800万人国際文化観光首都づくりとか、そういうものがあつた方がよいと思う。
- 観光分野は、2013年、2014年に状況が急激に変わってきていることを書いてほしい。併せて、データも最新(速報値でもよい)の数値を取り込んで記載してほしい。観光と文化に関する分野が、関西広域連合の諸施策のなかでも重要案件であり、伸ばすべき点だということを強調してほしい。
- 現状を示すグラフに外国人訪問者数の記載があるが、観光振興は本来、産業振興であるので、消費額のわかる図などを入れてほしい。
- 日本の外国人訪問者数がこのまま伸びれば、今後数年で世界のトップ10に入る可能性もある。従来の発想や経験にない観光大国となる。世界の各圏域は、どのようなツーリズム振興策を競い合っているのか、どういう水準で、他の圏域と地域間競争を行なっているのか。これまでは「できていない、十分ではない」というキャッチアップ型の課題解決を検討しがちであったが、世界の「観光大国」と競い合う覚悟で施策をうっていく必要がある。世界の観光大国における各都市圏の課題がどのようなものか学んでおく必要がある。

### 【「3 計画の基本方針と目標」について】

- 数値目標について、対象が外国人観光客であることがわかるように明記した方がよい。
- 数値目標中、「訪日外国人旅行消費額 約1兆円」という数字があるが、外国人から見た場合は、為替レートの変動による触れ幅が大きい。世界と比較するのであれば、ドル換算も書いておくなど、注釈がいるのではないか。
- 数値目標の各数値について、出典を明記したほうがよい。
- 数値目標の(文化体験のアップ)は数値が示されておらず、また明示も容易ではないので、別枠にするか文章化した方がよい。

#### 【「4 目標達成のための戦略」について】

○文化については、「関西が日本を背負って立つ」「関西文化の魅力発信」につきるといふことであればそれで良い。ただ戦略テーマの項目数をみると、観光は4に対して文化は1となっている。8割方、観光に重きを置いた計画となっている。

##### （「(1) 国際観光」について）

- 戦略テーマⅠの②中、「シアター・ミュージアムガイド、ナイトツアーなど新しい…」について、一部で始まっているので、「一部では始まっているがまだまだ本格的にされていない」など、そういう感じを出してほしい。
- 戦略テーマⅡの①中、「生活文化が非常に豊かな関西…」の表現が紋切り型になっている。改めて書くとしたら「日本文化の原型となる伝統を今も有しながら内外の文化を摂取して進化してきた」などの書き方がよい。
- 戦略テーマⅡの②、MICEについては、観光庁が全国で7都市を選定しているグローバルMICE戦略都市・強化都市のうち、関西から3都市が選定されている（グローバルMICE戦略都市 京都市・神戸市、グローバルMICE強化都市 大阪府・大阪市）ということなどを、もう少し具体的に書けないか。また民間によるMICEの誘致や事業実施に対して、行政が何らかのサポートをするという考え方は正しいと考える。

##### （「(3) 東京オリンピック・パラリンピック等に向けて」について）

- ①中、「日本の古典楽劇（歌舞伎・人形浄瑠璃・能）の…」の表記は、「日本が世界に誇る古典楽劇（歌舞伎・人形浄瑠璃・能）の…」というようにしてほしい。
- どこがやるのか、どこがお金を出すのかがない。1回目の委員会でも言っているが前進していない。お金について何もふれられていない。主体が不明。例えば、②中、「関西ワールドマスターズゲームズ2021」の取組についても、どこがやるのか具体的に本文に入れてはどうか。

#### 【「5 実現に向けた進め方」について】

- (1)官民連携の強化及び(2)規制改革・権限移譲等中、財源確保については国に求めていくとか、官民連携で解決するというようなニュアンスである。目標実現のためには、今後構成府県市に応分の負担が必要になってくるということを含めるべき。官民の双方が拡充し、お互いに切磋琢磨しあって連携しないと、片方だけが充実していくということでは決してないと思う。
- (1)官民連携の強化中、「関西地域振興財団」などと連携・協力する…」について、「関西地域振興財団をはじめ経済団体などと連携・協力する…」と書いた方がよい。
- (2)広域連合としての主体的な意向を追記すべきである。
- 民間の投資に当たる、構成府県市の経費支出を、という一文を入れてはどうか。「広域連合として観光・文化に戦略的に投資する」という内容の一文をどこかに入れてほしい。
- (3)事業推進計画について、行政計画として粛々と進めるという点ではまあまとまっているのではないかな。なおかつ3年でこれを取組ということでは、こういう表現が限界のような気がする。
- 連合として当事者としてどういう体制を組むのかということがやや十分に議論が尽くされていないと感じている。ここの書きぶりについて少し検討いただきたい。追い風なのに体制がまだ未成熟という認識を委員間では持っているのでは、連合の組織としてはこの

数字を実現していくために、体制強化を抜本的に3年間かけてでもいいからやるんだというようなことを。

- 具体性に欠けている。例えば、(3)事業推進計画中に、新しい取組と、今までの取組をブラッシュアップするものを折り込んでいくと具体性が出てくるのではないか。たとえば、「安心して楽しめるインフラ整備の充実」のところに「統一交通パス」を書き入れてもよい。
- (3)「事業推進計画」、および「(参考資料)これまでの主な取組と成果」は、さらに充実させる方がよい。戦略テーマの変更点も、判りやすいように書くべきではないか。「事業推進計画」には、3年間の中に節目となる事業やイベントがあれば書き込むべきだろう。また幹線道路の新設など、都市基盤整備のことについてもふれてほしい。「取組と成果」にはできれば前の計画で達成されたことや評価などを記載してはどうか。

関西観光・文化振興計画検討委員会(第3回)出席者名簿

所属団体	所属・職名	氏名(敬称略)
滋賀県	商工観光労働部 観光交流局 しがの魅力企画室 主査	恩地 衛
	総合政策部 文化振興課 参事	徳田 玲子
京都府	商工労働観光部 観光政策監	平井 裕子
	商工労働観光部 観光課 広域観光担当課長	亀澤 博文
	商工労働観光部 観光課 副課長	森田ひとみ
	商工労働観光部 観光課 主査	中村 政幸
	商工労働観光部 観光課 副主査	澤田 稔
	文化環境部 理事(文化交流事業担当)	金谷 宗子
	文化環境部 理事(文化政策課長事務取扱)	雨宮 章
	文化環境部 文化政策課 広域文化振興担当課長	大同 武
	文化環境部 文化政策課 主事	山根木菜央
大阪府	府民文化部 都市魅力創造局企画・観光課 主査	八切 由美
	府民文化部 都市魅力創造局 文化課 参事	星住 哲二
兵庫県	産業労働部 観光交流課 主任	津田 絵美
	企画県民部 芸術文化課 事業調整班長	山本 陽子
和歌山県	知事室 政策審議課 企画員	山東 良朗
	企画部 企画政策局 文化国際課 主査	井本 ゆか
鳥取県	文化観光スポーツ局 文化政策課 係長	竹ノ内司修
徳島県	県民環境部 文化スポーツ立県局 とくしま文化振興課 専門員	大崎 理英
大阪市	経済戦略局 観光部 観光課 担当係長	鈴木 貴司
	経済戦略局 文化部 文化課 担当係長	泉 歌奈子
堺市	文化観光局 観光部 観光推進課 主査	丸澤 廣芳
	文化観光局 観光部 観光推進課 主査	内山 雅雄
神戸市	市民参画推進局 文化交流部 文化振興担当係長	島崎 宏道
奈良県	観光局観光プロモーション課 主査	宗京 典子
近畿運輸局	企画観光部 計画調整官	小島 隆夫
文化庁	文化芸術創造都市振興室	小川 博子
関西広域連合	本部事務局 企画課 主査	西尾 佳子
公益社団法人 関西経済連合会	産業部 参与	高橋 保裕
	産業部 副主任	中西 康真
関西地域振興財団	常務理事	安竹 素之
	企画2部長	吉村 昌泰
	企画2部 部長	土井 康敬
新関西国際空港株式会社	航空営業部 プロモーション推進グループ 副部長	筒井 千恵